

## 地域づくり団体等による法人設立調査検討事業

（平成27年度）

### 地域で活用

空き家調査を行った地域や団体では、調査で明らかになった空き家の利活用に向けた議論や活動に取り組むといった動きも見られます。

こうした取り組みの促進に向け、実際に空き家を利活用していく上でどのような体制が望ましいか、法人化の可能性等を視野に含めた研修や勉強、調査検討も進められています。

モデル団体（右表）における調査検討では、早急に空き家の利活用を目的として団体を法人化するという結論には至りませんでした。資金調達や各種契約

をはじめ具体的な手続きを行っていく上でも、法人設立は有効な手法のひとつと考えられます。取り組みの深化にあわせて検討していくことが必要になります。

地区名	団体名	検討・実践の内容
江津市 黒松地区	黒松自治区 推進協議会	・人が集まる場所づくりを目指し 空き家を地域の交流サロンとして 活用 ・サロンの運営について住民参加 のワークショップも開催
江津市 波子地区	波子まちづくり 活性化協議会	・空き家を活用し地域の交流サロ ン、ゲストハウスを運営。交流 人口が拡大 ・空き家を活用したコミュニティ ビジネス等も検討
吉賀町 蔵木地区	蔵木地区の 活性化を考える会	・地域で空き家を活用していくこ とに関するワークショップ、勉 強会を開催 ・調査した空き家の状況について 地域住民にフィードバック



\*江津市波子地区(波子まちづくり活性化協議会)では、地域で空き家調査を行った後、空き家の修繕・利活用を展開。地域内外の人が集うサロン「虎の穴」、ゲストハウス「波の音」を運営。

## いわみサークル & 空き家提供啓発番組の制作

（平成27年度）

### 研修・研究

空き家対策、空き家の利活用を通じたU I ターンの推進は島根県石見圏域いずれの自治体にとっても共通の課題であり、空き家バンクの運営をはじめ様々な施策を展開しています。

島根県石見圏域9市町の職員で構成する「いわみサークル」では、定住・中山間地域対策に関連する研修・研究を行っています。平成26年度は「空き家」をテーマに掲げて検討しました。

この検討を通じて、メンバーからは空き家の利活用を促すために、活用事例をはじめ、空き家を空き家バンク等に提供した場合のメリットについて、実際に提供した方の声で具体的に呼びかけていくことが必要であるといった声が上がりました。



### 番組制作

こうした検討を踏まえ、平成27年度、石見圏域9市町の定住対策担当者が一堂に集い「空き家提供啓発広報企画編集委員会」を構成し、「石見発！空き家を有効活用しよう～空き家提供啓発広報番組～」を制作（制作：島根県ケーブルテレビ協議会）しました。

番組では、空き家所有者が提供にいたった理由をはじめ、メリットや提供時の注意点等について、インタビューをはじめ所有者の生の声や成功例、注意点・対応策を交えながら、空き家の有効活用に向けた啓発・広報を行っています。また、各市町のU I ターン施策や空き家利用者の声も収録しています。

この動画は、地元市町の身近な事例が取り上げられており、地域で行う空き家対策の勉強会等でもご活用いただけます。是非お問い合わせください。



\*島根県ケーブルテレビ協議会加入局各局で放送。映像は石見圏域9市町の定住対策担当課および西部県民センター地振興課で保有(DVD)。空き家対策に取り組む地域自治組織等へ貸出可能。